

経済文教常任委員会
2月22日開催

(1) 図書館の運営状況

○運営体制

兼任職員及び臨時職員11名で運営されており、うち司書資格者は3名配置となっている。

○蔵書数と書籍購入

調査時点の蔵書数は、9万8171冊で24年度に購入した本は2585冊となっていた。また、寄附を受けた北門信用金庫から27年度までの5年間に毎年100万円ずつ500冊の本を購入する計画を持っている。

○図書館行事

本の読み聞かせ「おはなしころりん」をはじめとした通常行事が4事業、青葉図書館、人形劇公園などの特別行事を9事業開催しており、図書館と住民の距離を密接にする取り組みが一年を通して計画されている。また、フリースペースにおいてギャラリー展示

が計画されており、施設活用にも多様な面から努力されている。

Q 図書館業務や行事が多岐にわたっている、少ないスタッフで増員は考えていないのか。

A スタッフが多いとは言えない。しかし、図書貸出し業務と図書館行事は分けている。図書館行事は主に副館長と3人の司書で行い、さらに必要に応じ館長、ボランティアなどにより業務を工夫している。

(2) 小・中学校図書室運営

○運営体制

小学校では授業の2時間目終了後と昼休みの2回開館。中学校は昼休みのみとなっていた。また、図書室の管理体制は小学校では司書教諭の兼任発令がなされ、中学校では図書担当教諭となっている。

○蔵書

小学校は3035冊、中学校は3170冊が配備されており、町図書館と綿密に連携した内容となっていた。図書の購入は、各予算計上されていたほか、平成25年度まで限定的に町内出身者が

組織する「新十津川望郷会」からの寄付による購入もなされ、学校図書の充実が図られていた。

Q 授業の合間、昼休みの限られた時間で十分な利用ができるのか。

A 事前に図書室から借りた本を各教室に保管することもできる。また、放課後も開館しているので、不自由さは感じていないと思われる。

(3) 公営住宅の入退去状況

○公営住宅管理戸数 385戸
町内 28件
町外 14件

○空家戸数 大和・学園・吉野を中心に27戸
入居方法は、

Q 手続きは登録制で申込書により順番待ちとなっている。

A 手続きは登録制で申込書により順番待ちとなっている。待機者で重複申し込みはあるのか。

Q トップ、文京、青葉団地が比較的新しいので重複登録者がいる。

A 慢性的な待機者が40人もいる。今後、公営住宅を建設し待機者を減らす考えは。

Q 待機者の中には滝川市などと併用した申込者もあり、現在のところ公営住宅を建設する予定はない。

A 待機者の中には滝川市などと併用した申込者もあり、現在のところ公営住宅を建設する予定はない。

(3) ピンネ農業公社運営状況及び平成25年度の取り組み

【平成24年度の取組】
○農地の賃貸借の取り扱い 69・6ha
○新規就農相談件数 5件
○集落営農・法人化講習会 7回

○不足農業労働力支援事業 希望農家への派遣者数 延1100人
○農作業受委託事業 委託者数 405人 受託者数 57人

【平成25年度の取組】
○農地利用調整支援事業 高齢化が著しい集落で懇談会を開催

○担い手育成支援事業 新規就農者を発掘するため札幌市内に個別ブースを構築誘

○その他 平成24年度同様、労働力支援事業、農作業受託事業に取り組み

編集後記

ここにきて融雪が遅れ気味で春作業に影響しないか一抹の不安が残ります。

この三月・四月は別れと出合いの時期でもあり人間関係の再構築しなければならなくそれぞれが自分の目標と併せてターニングポイントとなる時期で、この歳になっても少しウキウキします。

感動など五感を刺激することは脳を活性化させ老化防止にもなり良いほうにとらえたい、機会をこらえ物事に素早く行動出来るレスポンスを大切にしたい、現実と目標のダブルスキームを持ち続けることが次の新十津川を持続させることに役立つことになれば、「私の独り言？」新しい年度を迎えようこと・・・

(安中)

【議会広報特別委員会】

委員長	青田	良一
副委員長	山田	秀明
委員	笹木	正文
	安中	経人
	西内	陽美